

関西国際空港及び関連 事業に係る環境監視結果

平成30年度報告書

令和 元年 9 月

関西国際空港環境監視機構

目次

はじめに	1
1 対象事業の概要	2
1-1 関西国際空港の概要	2
1-2 空港の運営状況及び工事の進捗状況	4
1-3 事業者が講じた環境保全上の措置	5
2 環境監視の概要	7
2-1 環境監視の実施状況	7
2-2 環境保全目標	8
3 環境監視結果の概要及び評価	8
3-1 大気質	9
3-2 水質	17
3-3 底質	22
3-4 騒音等	25
3-5 海域生物	37
3-6 評価のまとめ	40
資料	
(1)環境監視結果	41
(1)-1 大気質	41
(1)-2 水質	45
(1)-3 底質	53
(1)-4 騒音等	59
(1)-5 海域生物	61
(2)環境基準一覧	63
(3)環境監視計画等	68
(3)-1 関西国際空港の存在・運用に係る環境監視計画	68
(3)-2 関西国際空港の存在・運用に係る環境監視計画の変遷	76
(3)-3 関西国際空港における環境監視計画の変遷	77
(3)-4 One エコエアポート計画の概要	80
(4)関西国際空港環境監視機構	84
(4)-1 活動状況	84
(4)-2 規約	85
(4)-3 組織図	88
(4)-4 環境監視結果等の公開場所	89

はじめに

本報告書は、関西国際空港環境監視機構（大阪府及び関西国際空港の地元9市4町の長で構成。以下「監視機構」という。）が、関西国際空港の運営及び関連事業の実施に伴う地域環境への影響を評価するため、関西エアポート株式会社、新関西国際空港株式会社及び関西国際空港土地保有株式会社（以下「事業者」という。）が行った平成30年度の環境監視に関するデータなどの情報を収集・整理した結果を取りまとめたものである。

あわせて、関西国際空港の環境監視に関する資料を巻末に取りまとめた。

平成30年度の環境監視結果から、環境基準の達成と維持に支障を及ぼさない、環境に著しい変化を生じさせないなど、事業者が定めた環境保全目標を概ね満足していると考えられる。